

各ルートにおける 自動運転の概要

万博時の自動運転について

想定ルート	<p>① 新大阪駅・大阪駅ルート</p>  <p>淀川左岸線（2期） 淀川左岸線（1期） 一般道 舞洲駐車場 万博会場 交通ターミナル</p> <p>赤色実線：自動運転区間</p>	<p>② 舞洲駐車場～万博会場</p>  <p>会場外駐車場 此花大橋 万博会場 赤色実線：自動運転区間</p>	<p>③ 万博会場内の外周道路</p>  <p>会場配置計画 (2025年7月現在) 赤色実線：自動運転区間</p>
	<p>京阪バス、阪急バス</p> <p>淀川左岸線（2期）：性能としてはレベル4相当 淀川左岸線1期：レベル2 (海老江JCT～大開)</p>	<p>Osaka Metro</p> <p>レベル4 (一部区間のみレベル4、 その他区間についてはレベル2で実施)</p>	<p>Osaka Metro</p> <p>レベル4相当</p>
自動運転主体レベル	京阪バス BYD製 路線バスタイプ1台 阪急バス EVMJ製 観光バスタイプ1台	EVMJ製大型 6台	EVMJ製小型 4台
運行車両	磁気マーカー、ラインペイント 合流支援	磁気マーカー、ラインペイント 信号協調、スマートポール	ラインペイント、信号協調
インフラ			